

大宮

THE ŌMIYA HACHIMAN

令和元年(2019)

皇紀 2679 年

天皇陛下御即位 御大典 奉祝

令和元年 わかば祭り(春の大祭)号【第114号】

<http://www.ohmiya-hachimangu.or.jp/>

主な目次

御代替りにわかば祭りを迎えて	2 頁
わかば祭り(春の大祭)のご案内	3 頁
杜の話題	5 頁
大宮八幡の杜 春から夏へ	8 頁
第6回フォトコンテスト作品募集中	9 頁
初宮詣芳名・どんぐり通信	10 頁
わかば祭り社頭風景	12 頁



宮司以下祭員参進

御代替りにわかば祭りを迎えて

宮司 鎌田紀彦

いよいよ当宮で草木が芽吹き始め、萌え出する青葉若葉の杜でのわかば祭り(春の大祭)が巡って参りました。

今年御代替りの年であります。去る2月24日に、今上陛下御在位30年奉祝奉告祭(中祭)を斎行し、次いで4月10日は天皇皇后両陛下御結婚60年奉祝の日であります。当日は当宮幼稚園の第70回入園式のため、15日に卯月月次祭に併せて奉祝祭(中祭)を斎行致します。又、4月29日には天皇陛下御即位御安泰祈願祭に併せて昭和祭(中祭)を斎行致します。

4月30日の御譲位まで、宮中三殿で天皇(皇室)の最重要任務として専ら祭祀が執り行われます。天皇皇后両陛下は、常に「国安かれ民好かれ」と世界の平和を祈られ、国民を「大御宝」として我が子の如く慈しみ情愛をほどこして下さっているのです。私共に寄り添って下さっていることに感謝し、この1ヶ月を感謝の月として心から敬愛と仰慕の誠を尽して御皇室を中心とする我が国の隆昌をお祈り致したく思っております。



5月1日 皇太子殿下が「劍璽等承継の儀」に臨まれ新天皇として

踐祚され、改元が行われます。第119代光格天皇の御譲位より約200年ぶりの御譲位で第126代の天皇として御即位されます。尚、今上陛下は上皇陛下、皇后陛下は上皇后陛下とされます。

5月1日午前9時より天皇陛下踐祚改元奉告祭併せて躑躅育木祭並びに朔旦祭(中祭)を斎行致します。秋には、10月22日には即位礼正殿の儀、11月14日、15日は大嘗宮の儀等御大典が続きます。

4月1日午前11時41分、5月1日の新帝即位以降の「新元号」は「令和」と菅官房長官より発表されました。今までの247の元号の出典はすべて漢籍(中国古典)より採用されてきましたが、此度は国書(日本古典)で現存する日本最古の歌集「万葉集」より採用され、248番目の新元号となります。

「万葉集」巻五、梅花の歌三十二首併せて序、奈良時代天平2年(730)正月13日に、北九州太宰府政庁の長官 大伴旅人の邸宅で開かれた梅花をめでる宴に参加した官人たちの32首の歌に合わせた序文。于時、初春令月、気淑風和、梅披鏡前之粉、蘭薫珮後之香。書き下し文。時に、初春の令月にして、気淑く風和ぎ、

梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫らす。現代語訳(中西進著「万葉集」から)時あたかも新春の好き月、空気が美しく風はやわらかに、梅は美女の鏡の前に装う白粉のごとく白く咲き、蘭は身を飾った香の如きかおりをただよわせている。(産経新聞平31・4・8)

この序文にある新春のめでたい好月を表す「令月」とこちよき風を表わす「気淑く風和ぎ」の文言から新元号は「令和」とされました。

安倍首相の談話の中にも「万葉集」は日本最古の歌集であるとともに、天皇や皇族、貴族だけでなく、防人や農民まで、幅広い階層の人々が詠んだ歌が収められ、我が国の豊かな国民文化と長い伝統を象徴する国書であります。悠久の歴史と薫り高き文化、四季折々の美しい自然、こうした日本の国柄をしっかりと次の時代へと引き継いでいく。厳しい寒さの後に春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように、一人ひとりの日本人が明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたいとの願いを込め、「令和」に決定いたしました。

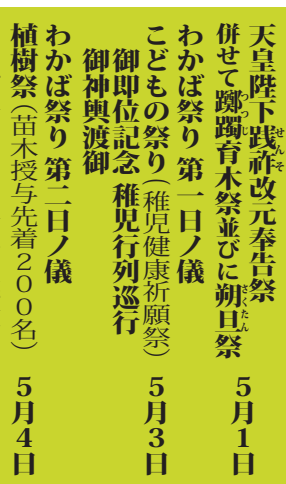
と述べられております。私共は新しい元号のもとに、誓いも新たに各々の大輪の花を咲かすべく日々努力して行かねばなりません。

今年のわかば祭りは天皇陛下御即位御大典を奉祝してのわかば祭り(春の大祭)となります。

第一日ノ儀の3日、「こどもの祭り」の稚児行列には睦会、氏子青年会の奉仕で「御神輿の渡御」が予定されております。稚児



お披露目となる京都嶋原太夫社参道中が華やかに美しく奉納されます。



お披露目となる京都嶋原太夫社参道中が華やかに美しく奉納されます。

平成の御代に心からの感謝を捧げ 新しき御代の皇室の弥栄と我が国の益々の発展、世界の平和を祈りましょう

本年4月30日、天皇陛下には御譲位、5月1日に新帝が踐祚あそばされ、元号を「令和」とお定めになります。私共は、神武創業以来2679年にわたる長い歴史に改めて思いを致し、皇室を戴き、累代の祖先が育み伝えてきた素晴らしい国柄を誇りをもって受継ぎ、より良い未来を紡ぎだすべく次の時代を担う人々に正しく伝えて行かなければなりません。御代替りに当たり、皇室の弥栄と邦家の繁栄、世界の平和を心よりお祈り申し上げる次第であります。なお、当宮では4月15日に「天皇皇后両陛下御結婚60年奉祝祭併せて卯月月次祭」、4月29日に「天皇陛下御譲位御安泰祈願祭併せて昭和祭」、5月1日に「天皇陛下踐祚改元奉告祭併せて躑躅育木祭並びに皇月朔旦祭」を奉仕する他、本年の春秋の大祭は「天皇陛下御即位御大典」を奉祝して斎行致します。

天皇陛下御即位 御大典 奉祝 わかば祭り(春の大祭)



御即位記念稚児行列 巡行・御神輿渡御

3日はまず、第一日ノ儀こどもの祭り(稚児健康祈願祭)が斎行され、午後2時半より稚児行列が行われます。佼成学園吹奏楽部を先頭に猿田彦陣羽織姿の役員総代、りんどう会役員の供奉に続いてお稚児さんたち、BS・GS、飛び入り参加自由の太鼓山車曳きのこどもたち、さらに御神輿の渡御があり、神社周辺の13キ口を練り歩きます。稚児は神々の依代として、その奉仕をすると健やかに成長するといわれています。

御即位記念稚児行列 巡行・御神輿渡御

大宮八幡 植木市

大祭期間中の3日より5日まで表参道では大宮八幡植木市が開催されます。

苗木授与と 献木のお祝い

5月4日(みどりの日)午後2時より大宮八幡宮植樹祭が斎行されます。当宮みどりの会主催で第70回全国植樹祭に因んで開催され、ご参列の先着200名様に観葉植物が授与されます。また、皆様方より献木のご協賛をご社頭にて承っております。

献木初穂料 一口二、〇〇〇円 ※年間を通じて承っております。

わかば祭り 祭典と奉納神賑行事	天皇陛下御譲位御安泰祈願祭 併せて昭和祭	4月29日
	天皇陛下踐祚改元奉告祭 併せて躑躅育木祭並びに朔旦祭	5月1日
	わかば祭り 第一日ノ儀	5月3日
	こどもの祭り(稚児健康祈願祭) 御即位記念 稚児行列 巡行 御神輿渡御	5月3日
	わかば祭り 第二日ノ儀 植樹祭(苗木授与先着200名)	5月4日
	わかば祭り 当日祭(尚武祭)	5月5日
	わかば祭り 終了奉告祭(直会乃儀)	5月5日
神賑行事	春の弓道奉納射会	4月29日
	古武道武技奉納	5月3日
	佼成学園吹奏楽部奉納演奏	5月3日
	第19回若葉inおのみや	5月4日
	第19回奉式者の集い	5月4日
	杉並太鼓奉納演奏	5月4日
	野点茶会	5月4日
	(裏千家淡交会東京第7東支部)	5月5日
	方南エイサー踊り奉納	5月5日
	嶋原太夫社参道中奉納	5月5日
	雅太鼓奉納演奏	5月5日
	奉納献燈提灯	4月29日、5月12日
	園児画展	4月29日、5月12日
	みどりの会即売	4月29日、5月3日、5日
	スカウトバザー	5月3日
	大宮八幡 植木市	5月3日、5日
	盆栽展示会・即売会	5月3日、5日
	露店	5月3日、5日
第20回茶道裏千家 献茶式		5月11日
神功皇后七十七百五十年式年大祭		6月3日

御即位御大典にかかる 臨時祭（中祭）

天皇皇后両陛下 御結婚満60年奉祝祭 併せて卯月月次祭

4月15日午前10時より両陛下のご結婚満60年をお祝いし、今後ともにお健やかに過ごしていただけるよう真心込めて奉仕されます。ご結婚は4月10日ですが、当宮幼稚園の入園式と重なるため、15日に変更されました。

天皇陛下御譲位御安泰祈願祭 併せて昭和祭齋行

天皇陛下には4月30日に皇太子殿下に御譲位あそばされるに当たり、陛下を始め皇室の御安泰を御祭神に祈願しました。また、昭和の日に当たり、昭和天皇のご聖徳をお讃え申し上げました。

天皇陛下踐祚改元奉告祭 併せて躑躅育木祭 並びに皐月朔旦祭

5月1日、新帝御即位に伴い「令和」と改元せられたことを御祭神にご奉告申し上げると共に、春の大祭の嚆矢となる躑躅育木祭が齋行されます。

杜の話題

初春の表情

元旦の午前零時、宮司の打つ一番太鼓が境内に響きわたり、平成31年の幕明けとなりました。神門が開門されると、思いも新たにした参拝者で境内があふれました。まず「神能（翁）」が人間国宝の能楽師野村四郎師により奉納され、続いて宮司奉仕による「新春厄除開運初大祈願祭（一番祈禱）」が齋行されました。

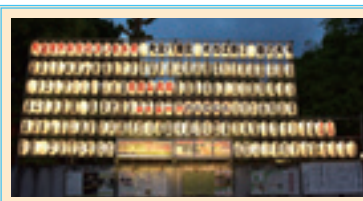


納されました。3日は、午前10時より皇位の大元の始めが「元始祭」が齋行されました。

1月25日、大宮天満宮の初天神祭が齋行されました。年初の天神祭は丁度受験のシーズンでもあり、受験生をもつ親御さんたちが参列されました。

若葉inおのみや

4日は第二日ノ儀齋行の後、神楽殿において第19回若葉inおのみやが開催されます。本年も神職の唄ひ手涼恵氏による日本の調べを奉納演奏していただきます。涼恵氏は幼い頃より神社で育ち、山川草木の語らいに耳を澄まし、言葉を唄うと評され、洋楽器に箏、龍笛、神楽鈴を取り入れた独特の音楽世界を創造され、国内外で活動されています。ご自由にご陪観頂けますのでお誘い合わせの上お越し下さい。



献燈提灯奉納のご案内

わかば祭りの期間中、多くの参拝者をお迎えするに当たり、皆様方のお名前（ご社名）を入れた献燈提灯を掲出させて頂き、ご社頭を賑々しくお飾りさせて頂いております。

毎月・お朔日参りを致しましょう

毎月1日 朔日祭
毎月15日 月次祭
毎月25日 大宮天神月次祭
ご自由にご参列下さい

第20回裏千家献茶式

5月11日午前10時より、第20回裏千家献茶式が茶道裏千家今日庵（大宮）にて開催されます。宗匠（先代15代家元）のご奉仕で行われます。宮司の祝詞奏上に続き、ご神前にて大宗匠のお手前により濃茶と薄茶が厳かに献じられます。境内では、本年は淡交会東京第7西支部の担当主催で早朝より奉賛添茶会が催されます。また、大宮幼稚園では幼稚園茶席も開かれ、日頃のお稽古の成果を園児等が披露します。園児たちの緊張しつつも可愛いお手前が披露されます。



春の大祭後の主な行事

- 御嶽様名神社例祭 5月16日
- 第40回大宮まつり展 5月下旬～6月上旬
- 神功皇后壹千七百五十年式年大祭 6月3日
- 大祓詞書写会 6月6日～23日
- 夏越の大祓・茅の輪くぐり 6月30日
- 第21回乞巧奠飾り 7月1日～15日
- 大宮八幡乞巧潜り 7月1日～15日
- 七夕の神遊び（技芸上達祈願祭） 7月7日
- 雅楽の夕べ（雅楽と神楽舞） 7月6日・13日
- 第19回納涼大宮天神こども祭り書画行燈掲出 7月6日
- 第19回杜のひびきinおのみや（和太鼓演奏） 7月24日・25日
- 多摩清水社例祭（水神祭） 8月1日
- 第36回戦没者慰霊祭 8月15日
- 第19回十五夜の神遊び・月の音舞台 10月12日

文化財防火デー消防訓練

昭和24年1月26日、奈良・法隆寺の金堂が炎上、国宝の十二面壁画を焼失してしまいました。貴重な文化財を守る意識啓発のためこの日は文化財防火デーと定められ、当宮では、杉並消防署のご指導のもと、毎年消防訓練を行っています。午前10時半、社殿より出火との想定で訓練を開始。通報連絡、避難誘導、初期消火に続いて杉並消防署、杉並消防団第2分団、当宮自衛消防隊により、ご社殿の屋根高く一斉放水を行いました。地元大宮地区町会の皆さんにもご参加いただきました。



永職会例会が当宮で

1月28日、累代社家にして、祀職を継ぐ全国の有志による会である永職会の112回例会が当宮で開催されました。西高辻信良会長（太宰府天満宮宮司）はじめ全国の会員29名が出席し、正式参拝の後、清涼殿羽衣の間に例会・講演会が開催されました。次いで蓬萊の間にて懇親会となりました。



新春社頭往来

- 1月1日 人間国宝・観世流能楽師 野村四郎氏
- 立正佼成会会長 庭野日鏡氏
- 高井戸警察署署長 他幹部の方々5名
- 1月2日 長坂雄太氏
- 弓馬術礼法小笠原教場 三十一世家系 小笠原清忠氏
- 明治神宮権宮司 網谷道弘氏
- 明治神宮崇敬会理事長
- 1月7日 公益社団法人 日本ブライダル文化振興協会（BICA）
- 会長 勝俣伸氏
- 専務理事 野田兼義氏 他4名
- 1月10日 大國魂神社宮司 猿渡昌盛氏
- 1月14日 衆議院議員 石原伸晃氏
- 1月25日 竹駒神社名誉宮司 令夫人 里紗様
- 1月27日 千葉博男氏
- 1月28日 氣比神宮名誉宮司 桑原恒明氏
- 永職会会長 西高辻信良氏
- 1月28日 太宰府天満宮宮司
- 1月19日 外務副大臣・参議院議員 佐藤正久氏

毎月お朔日参りには 月代り御幣守護を!!

当宮では古くより朔日（一日）、十五日に月参りをされる参拝者の方々が多く、こうした方々に年間を通して八幡大神様のご神威をお受け頂こうと、毎月の朔日祭に併せてお朔日参り「月参り御幣振り神事」のご祈願を奉仕しております。月毎にお申し込みの場合は初穂料三、〇〇〇円、年間一括でお申し込みの場合は初穂料三、〇〇〇円にて齋行させていただきます。



大宮稻荷神社初午祭

大宮稻荷神社の初午祭を本年は2月2日に齋行。深紅の初午幟がはためく中、宮司以下祭員により齋行されました。



節分祭 一年の邪気を祓う

季節の変わり目である立春・立夏・立秋・立冬の前日を節分といい、年4回あるうちの特に立春前日の節分には、1年の邪気を祓う重要な神事が行われてきました。当宮では、午前10時より節分祭を齋行。祝詞奏上にあと桃の弓・葦の矢で「天・地・人」の魔を射る卯杖神事を奉仕。次いで外拝殿大前にて鳴弦の儀を宮司奉仕の後、当宮幼稚園の園児たちが鬼に扮して、社殿大前にて豆撒き神事が行われました。豆撒きは、まず園児たちを対象に1度行われ、次いで一般参拝者を対象に、計2回にわたって行われました。



紀元祭並檀原神宮遷葬



2月11日は、神武天皇様が初代天皇として檀原の宮に即位され、わが国が建国された記念の日です。午前10時、まず社殿にて紀元祭を斎行。次いで清涼殿の特設齋場にて檀原神宮遷葬。頌歌「紀元節」を声高らかに斉唱し、聖寿萬歳三唱。皇紀2678年のその上をお祝いしました。

なでしこサッカーチーム スライダー世田谷FC 必勝祈願

2月11日、現在なでしこリーグ2部で1部昇格を目指して活躍中のスライダー世田谷FC（代表稲田能彦氏）30名が必勝祈願に来宮されました。また、3月11日には同チームのメンバーであるサミット(株)が必勝祈願と応援グッズの清祓に来宮されました。



宗教者懇話会募金活動・物産展

3月12日、JR阿佐ヶ谷駅南口にて、杉並区宗教者懇話会（代表幹事当宮宮司）主催・杉並区後援による「3・11東日本大震災支援活動」として、募金活動・物産展が行われました。杉並区内の宗教者が集い、駅前街頭で復興支援を呼びかけました。「南相馬市みらい夢基金」の支援活動で、物産展では南相馬市と石巻市の物産が並びました。杉並区宗教者懇話会は、神道・仏教・キリスト教等の諸宗教者が交流して世界平和に貢献するべく結成されました。寄せられた義援金は杉並区を通じて同区と姉妹都市の福島県南相馬市に寄贈されました。



竹駒神社初午大祭(例祭)に参列

3月14日、当宮と姉妹神社の関係を保つ宮城県竹駒神社（村田守広宮司）の初午大祭(例祭)に宮司、瀬沼・鈴木両貴任役員が参列しました。



外務副大臣佐藤正久 参議院議員正式参拝



2月19日、外務副大臣佐藤正久参議院議員が、葉梨俊郎区議（総代）、五本木貴任役員、末柄総代と共に来宮され、正式参拝されました。

天皇陛下御在位三十年 奉祝奉告祭

2月24日、天皇陛下御在位三十年を奉祝して、中祭式にて宮司以下祭員奉仕により厳粛に奉告祭が斎行されました。



記念植樹

天皇陛下御在位三十年及び天皇陛下御即位御大典の奉祝記念として、神門外右側旧楠樹跡に八重紅枝垂桜を植樹。また、神門内左側の桜を老朽化のため伐採し、その跡に染井吉野を植樹しました。その他、天皇陛下御即位御大典の奉祝記念として、箱根植木株式会社(和田新也社長)より古代蓮の「大賀蓮」五鉢の奉納があり、御大典奉祝として受納しました。

大宮八幡桜まつり開催

3月23日から31日にわたって桜まつりが開催されました。当宮境内より和堀公園内の善福寺川沿いには数千本の桜があり、時季になると一斉に開花して目を楽しませてくれます。期間中は午後8時まで開門、和堀公園への往来も自由に行えます。23日と30日の両日には神楽殿にて夜桜の神遊びを開催し、神楽舞と雅楽がライトアップされた桜の中、奉奏されました。



勸学祭ランドセルお祓い式

小学校入学を祝い、お子様の成長を祈念する勸学祭・ランドセルお祓い式が、3月30日・31日に執り行われました。大きなランドセルを背負った新生児たちが緊張した面持ちで参列しました。



伊勢参宮旅行

恒例の伊勢参宮旅行が2月20日より2泊3日の旅程にて行われました。今回の参宮旅行には26名が参加。一行は東京駅より新幹線で伊勢神宮外宮に向かい、御垣内参拝。その後には内宮を御垣内参拝、御神楽を奉納し、鳥羽湾を望む定宿鳥羽シーサイドホテルに宿泊。2日目は、二見の夫婦岩で有名な二見興玉神社を正式参拝。その後岐阜県に向かい、大垣市内にて昼食をとり美濃国一の宮南宮大社を正式参拝。参拝後は、長良川鶴飼ミュージアムにて、伝統文化である鶴飼いを映像資料などで見学し、長良川温泉岐阜グランドホテルに宿泊。3日目は、手力雄神社を参拝後、名古屋の熱田神宮を参拝し、市内で昼食をとり新幹線で帰路につきました。



東日本大震災復興祈願



「私どもは3・11を忘れません」当日の朝、御饗祭では、復興祈願の祝詞を奏上し、大祓詞3巻を奉唱しました。また、地震発生時刻の午後2時46分にはご参拝の皆様にも呼びかけ、社殿前にて犠牲となられた方々へ1分間の黙祷を捧げました。3月15日には、東日本大震災復興祈願祭を月次祭と併せて斎行し、一日も早い被災地の復興を祈りました。未曾有の大災害をもたらした東日本大震災から8年を迎えましたが、原発事故の問題を含めて、復興はまだまだ道半ばです。

新たに神社ナビタを

神門外左側に新たに神社ナビタを設置しました。タッチパネルで境内案内や神社の行事等がわかりやすく表示されます。



(利用時間午前6時より午後8時迄)

りんどう会だより

とんど焼き神事(古神矢・古神札焼納祭)に併せて、1月15日、恒例の厄除げぜんざいの授与奉仕を行いました。今年一年の無病息災を願って、ご神火をいただき、作られるぜんざいは、多くの参詣の方々にお召し上がりいただきました。また、4月26日には、春の大祭を前に御垣内清掃奉仕が行われました。りんどう会では、随時会員を募集しております。お気軽に事務局(社務所)へお申し出下さい。



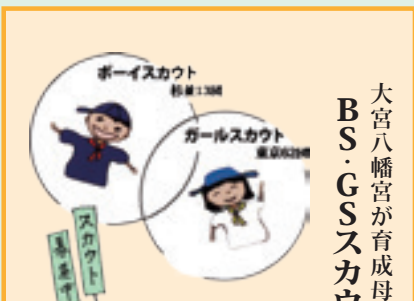
氏子青年会だより

元日を迎えた神門前で、御神酒の振る舞いと八幡そばを出店し、初詣参詣者の方々に喜ばれました。2月24日、氏子青年の集いを開催しました。正式参拝の後、高円寺氷川神社氏青、馬橋稲荷神社氏青、成宗白山神社睦会の来賓をはじめ49名の出席で盛会となりました。3月24日、東京都氏子青年協議会の研修旅行が神奈川方面にて開催されました。井川会長以下4名の参加で、相模国三之宮比々多神社を正式参拝しました。



親子で野外体験

スカウトの森にて「親子で野外体験会」が3月3日、開催されました。杉並第13団のボーイスカウトやスカウトリーダー等は参加者達と共に自然とふれあい、ゲーム大会やみんなで作る野外料理などのスカウト活動を楽しみました。



BS・GSスカウト募集

大宮八幡宮が育成母体
小学1年生から各学年ごとにいつでも入団できます

大宮八幡の杜 春から夏へ

神功皇后一七五十年式年大祭

本年は、ご祭神神功皇后様が摂政69年(269)、陰暦の4月17日に御歳百歳で神上がりましてより一七五十年の式年に当たり、その年の皇紀929年の月日を太陽暦に換算すると6月3日となります。当日は、まず御陵の狭城盾列池上陵(奈良県)を遙拝し、式年大祭を斎行いたします。ご祭神の神功皇后様は、息長帯比売命と申し上げ、主祭神応神天皇の母君であり、この事から聖母とも称され、また古くから安産・子育ての御神徳が敬仰されています。

水無月 夏越の大祓

6月30日、午後4時より夏越の大祓が斎行されます。大祓は6月と12月の晦日に行われ、知らず知らずのうちに犯した罪や穢れを祓い清める神事です。神門前の参道広場の斎場にて、まず神職が大祓詞を宣読し各自切麻で自己祓いし、人形で全身を撫で息を3度吹きかけます。心身の罪穢れを形代に移して、茅の輪を左右左右と3回くぐって祓い清めを行います。「水無月の夏越しの祓する人は千歳の命延ぶというなり」



己祓いし、人形で全身を撫で息を3度吹きかけます。心身の罪穢れを形代に移して、茅の輪を左右左右と3回くぐって祓い清めを行います。「水無月の夏越しの祓する人は千歳の命延ぶというなり」

大祓詞浄書(水無月書写会)

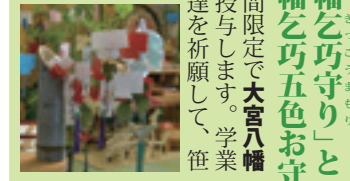
大宮八幡塾水無月書写会では夏越しの大祓に併せて、りんどう会と共催で大祓詞書写会を開催いたします。期間中は午前9時半〜午後3時半まで茶室「神泉亭」にて随時受付しており、約900字の大祓詞を書写して大神様のご神徳を戴きます。尚、浄書された大祓詞は大祓に引き続いて行われる奉納奉告祈願祭にて神前に供えられます。

平安の雅び第21回乞巧奠飾りと平成の七夕大宮八幡乞巧祭り

7月1日から15日まで、第21回平安の七夕乞巧奠飾りが開催されます。清涼殿殿ロビーにて乞巧奠飾りを再現展示します。技芸上達を願う乞巧奠は、古く平安の世より宮中を中心に広く行われた行事です。また、神門前には梶の葉や五色の布を付けた平成の七夕大宮八幡乞巧祭りが設けられます。



今年も期間限定で大宮八幡乞巧守り(五色お守り)を奉製を巧守りを授与します。学業や技芸の上達を祈願して、笹竹に紅白の七夕人形が付けられた特別に奉製されたものです。



納涼 大宮天神こどもまつり

7月24日と25日の両日にわたり、第19回納涼大宮天神こどもまつりが行われます。24日は午後5時より、大宮幼稚園園児、近隣の小学生、崇敬者の方々からご奉納いただいた多数の書画行燈に灯が入り、幻想的な雰囲気の中、宵宮祭を斎行いたします。翌25日は午後5時より大宮天神祭、祭典の後こどもあかり神輿が元氣よく境内を廻ります。午後6時半より杜のひびきinおみや(時間をはずした日の祭事)として勇壮な和太鼓の奉納演奏があり、神門前では子供のミニ花火の集いが催され、大勢の子供たちで賑わいます。氏子青年会による模擬店も出店されます。



7月24日と25日の両日にわたり、第19回納涼大宮天神こどもまつりが行われます。24日は午後5時より、大宮幼稚園園児、近隣の小学生、崇敬者の方々からご奉納いただいた多数の書画行燈に灯が入り、幻想的な雰囲気の中、宵宮祭を斎行いたします。翌25日は午後5時より大宮天神祭、祭典の後こどもあかり神輿が元氣よく境内を廻ります。午後6時半より杜のひびきinおみや(時間をはずした日の祭事)として勇壮な和太鼓の奉納演奏があり、神門前では子供のミニ花火の集いが催され、大勢の子供たちで賑わいます。氏子青年会による模擬店も出店されます。



第6回フォトコンテスト作品募集中 ~締め切りせまる~

大宮八幡宮は都心にありながら広大な境内を有し、周囲を豊かな自然に囲まれています。四季折々に様々な花が咲き誇り木々が生い茂り、参拝者の目を楽しませてくれます。そんな当宮の自然や祭典行事風景を、プロ・アマ問わず写真愛好家の方々の目で写し撮って、その作品を八幡大神様にご奉納頂き、今秋の大宮八幡祭り(秋の大祭)期間中に展示します。ご参拝の皆様楽しんで頂きたく、第6回フォトコンテストを開催致しますので、皆様奮ってご参加頂きますようご案内申し上げます。

締め切り日

令和元年7月31日

募集サイズ: 2L・4切サイズ

大宮八幡宮に関連した作品であれば、風景・人物・行事等テーマは自由です。(1人5点まで)

但し、各神事での撮影禁止事項をお守り下さい。



審査風景

プロ・アマ・年齢不問 小・中・高校の学生さんも歓迎! 応募作品についての詳細は、社頭やホームページ上にてご確認ください。

協力写真店

- ホットカメラ本店 (浜田山)
- フォトグラフ三光堂 (大宮八幡宮入口)
- カメラハウス本店 (久我山)
- ストックワーク (中野)

過去5回の最優秀賞(宮司賞)入賞の作品

第1回

『当たれ!』大野 貴義氏

第3回

『後押し』杉園 幸司氏

第2回

『祭りだワッショイ!』大野 貴義氏

第4回

『十五夜の神遊びで神様もお喜び!』奥村 泰子氏

第5回

『後光さす八幡宮』早川 幸子氏

※入賞作品の著作権は応募者本人に帰属しますが、使用権は主催者に帰属するものとし、展示や当宮の出版物・広報・インターネット等に無償で使用させて頂きます。(*各媒体掲載時には、氏名のみを掲載させて頂きます。)

国旗のある自由画 コンクール入選作品展

6月中旬より7月下旬まで、(社)国旗協会主催の国旗のある自由画コンクール入選作品展が、神門内北側翼廊ブルーボードに展示されます。4歳児から小学6年生までの児童の子ども達の作品も入選し展示されています。



書画行燈の募集

納涼大宮天神こどもまつりに当たり「書・画」の作品を募集します。奉納された書や画は、行燈に貼って灯をととして7月24日の夕刻より大宮天神祭の献灯としてご社殿前に掲出されます。

書または水彩画を指定の用紙に、必ず横長に使用してご奉納(応募)頂いておきます。(※用紙は社務所にあります。[無料])



戌の日詣りは 子育て八幡さまの当宮で 安産祈願祭を!

※戌の日以外でも随時お受けしております。ご祈願の方には大宮八幡息長帯(安産腹帯)と共に、へその緒で結ばれたお母様とお子様健康にご出産の時を迎えられますようにと願いが込められた「母子緒守」と「安産祈願給馬」を特別に授与しております。



戌の日早見表 (令和元年5月~9月)

9月	8月	7月	6月	5月
10日(火)	5日(月)	12日(金)	6日(木)	1日(祝)
22日(日)	17日(土)	24日(水)	18日(火)	13日(月)
	29日(木)		30日(日)	25日(土)

は大安の日です

多摩清水社例祭

8月1日は葉月朔日祭に引き続き御神水の湧き出る多摩清水社の例祭が斎行されます。水の大切な盛夏のこの時期に、水神様の御神徳を称え水の恵みに感謝の誠を捧げるお祭りです。神門を出た入り口には、阿波野青歌の「広き野に霊の清水のあるところ」と詠まれた句碑があります。



第36回戦没者慰霊祭

第36回戦没者慰霊祭が、8月15日に斎行されます。当宮及び兼務社の氏子地域より出征された戦没者のご英霊たちに感謝と追悼の誠を捧げ、世界平和を祈念します。



大宮八幡祭り(秋の大祭) 祭典日程のお知らせ

本年度の大宮八幡祭り(秋の大祭)は左記の日程により斎行されます。

- *神輿神霊入れ祭・若宮八幡神社並白幡宮例祭は9月13日(金)に斎行する
- *宵宮祭は9月14日(土)に斎行する
- *例祭・氏子奉幣祭、神輿合同宮入りは9月15日(日)に斎行する
- *神輿神霊返し祭は9月16日(祝)に斎行する

Table listing names and family names for the 114th issue, organized in columns.

Table listing names and family names for the 114th issue, organized in columns.

初宮詣り芳名(謄)

(平成30年11月21日(平成31年3月20日))

お子様のお健やかな成長をお祈り致します

Table listing names and family names for the 114th issue, organized in columns.

十三参り祈願のご案内. Text explaining the 13-year-old prayer ceremony and listing names of participants.

とんぐり通信. Text about the 'Tonkuri' festival and photos of children participating.

祝七五三詣. Advertisement for the 7-5-3 clothing exhibition on July 6th.

結婚式挙式者芳名(敬称略). Advertisement for a wedding ceremony on April 30th.

昭和記念公園. Text about the 'Shohei Kinen Park' festival and photos of children playing.

天皇陛下御即位 御大典 奉祝

わかば祭り(春の大祭) 5月3日~5日

わかば祭り 第一日ノ儀

こどもの祭り(稚児健康祈願祭)〔3日〕

第41回 稚児行列に、吹奏楽・スカウト・猿田彦・役員総代・こども太鼓山車など多くが供奉。



先頭を行く 佼成学園吹奏楽部



猿田彦、役員、りんどう会と続く

わかば祭り 第二日ノ儀

植樹祭〔4日〕



植樹祭

わかば祭り 当日祭(尚武祭)〔5日〕



宮司祝詞奏上



園児ら朝日子の舞奉奏



嶋原太夫 社参道中奉納



野点茶会



雅太鼓奉納演奏



盆栽展示〔3日〕5日



古武道武技奉納〔3日〕



杉並太鼓奉納演奏〔4日〕



方南エイサー踊り奉納〔5日〕

大 宮 第 114 号
令和元年 春の大祭号
令和元年 5月1日発行

大宮八幡宮社務所

〒168-8570 東京都杉並区大宮2-3-1
電話 (3311)0105 FAX (3318)6100
Mail : info@ohmiya-hachimangu.or.jp

大祭期間中(3~5日)、境内では連日神賑行事が奉納されます。
参道には露店が多数立ち並び、大宮八幡 植木市・盆栽即売会も行われます。